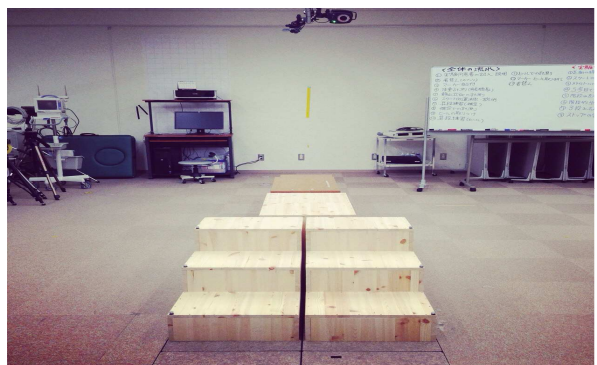
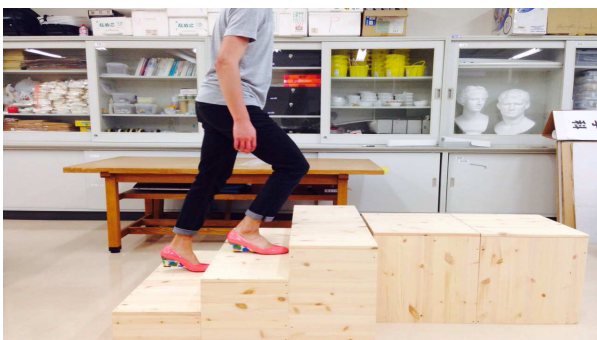
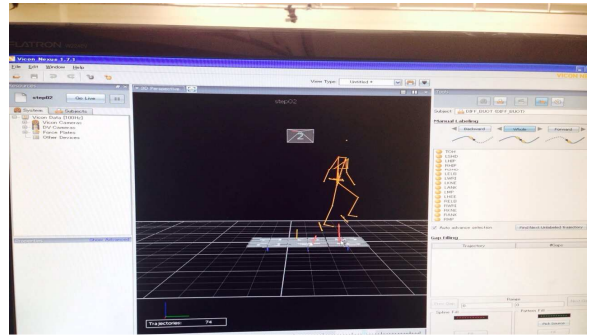


齋藤ゼミ



齋藤ゼミは作業療法学科で唯一、三次元動作解析装置や床反力計等を使用し、より科学的な根拠に基づいた研究が行える場所です。そのため、機器の使用方法や実験準備、設定など、本実験に辿り着くまでにやらなければいけないことが盛りだくさんです。しかし、担当の齋藤慶一郎先生と密に相談、情報交換し、ご指導を受けながら質の高い研究を進めていくことができます。初めての研究で実験の進め方、分析などわからないこともたくさんありますが、いつでも手厚いご指導やアドバイス、考え方の道筋を示していただけるため、作業療法士となった際の臨床研究の基盤ともなる非常に重要な経験ができるゼミです。



研究は基本的に実験研究で、2人一組の共同で進めていきます。ペアの中で役割分担し、先行研究の検索や実験設定、予備実験、本実験での機器の操作、被験者への指示、データ解析、分析、研究発表、論文作成など、先生のご指導の下、話し合いの場をもちながら協力して行っていくことができます。私たちは階段とウエッジソールを用いた実験であったため、実験器具等も必要に応じて自分たちで作製しました。研究は動作解析など運動器系のテーマが中心ですが、「作業療法士」としてどのように対象者の日常生活や価値観に合わせた指導や援助を行っていくのかについて、考え、学ぶことのできるゼミです。